

【企画展3】

季節を味わう 一年中行事と風景―

1. 概要

年中行事を中心に日本の四季を感じる情景について、絵画や資料をもとに、現在との共通点や相違点にも注目しながら紹介する。

(担当学芸員：枝元 咲)

2. 会期

令和5年7月2日（日）～8月27日（日）

ただし、月曜日休館（祝日の場合は次の平日）

3. 開館日数 49 日

4. 入館者数 3,766 人

5. 展示目録



No.	資料名	時代	備考
1 章 春と祝い（1月～3月）			
1	元朝登城之図	明治 16 年（1883）	
2	東石見宛吉川広家書状	元和年間頃（1620 年代頃）	
3	御音信帳	天保 4 年（1833）	
4	東都歳事記	天保 9 年（1838）刊	
5	重富日記	慶応 4 年（1868）	
6	風流十二月ノ内青陽	天保年間頃（1830 年代頃）	
7	年賀状	嘉永 2 年（1849）	
8	御屋形日記	安政 4 年（1857）	
9	岩邑怪談録	明治 43 年（1910）	
10	江戸名所図会	天保 5 年（1834）刊	
11	丁巳遊学雑記	文政 10 年（1827） 文政 12 年（1829）～ 天保 2 年（1831）	
12	江戸名所 上野花盛り・隅田川満花之図	元治元年（1864）	
13	桜花図	江戸時代後期	
2 章 夏と節供（4月～6月）			
14	岩国都鄙俳諧類題随筆	江戸時代	
15	若殿様端午御幟記	文政 2 年（1819）	
16	東都歳事記	天保 9 年（1838）刊	
17	鍾馗図	延宝 6 年（1678）	
18	座敷幟	昭和時代頃	
19	御裏日記 春・夏	安政 5 年（1859）	
20	蓮白鷺図	江戸時代後期	
21	日本歳時記	貞享 5 年（1688）刊	

22	御厨年中行事	嘉永3年（1850）	
3章 秋と祭り（7月～9月）			
23	御用所日記	元禄7年（1694）	
24	役者絵	文久2年（1862）	
25	御用所日記	文政4年（1821）	
26	日本歳時記	貞享5年（1688）刊	
27	岩邑年代記 二	江戸時代後期	
28	南条踊写真	大正8年（1919）	
29	御音信帳	天保5年（1834）	
30	椎尾宮御年廻祭一途控	嘉永6年（1853）	
31	椎尾八幡宮期年祭行列図	明治18年（1885）	
32	菊小禽図	文化4年（1807）	
4章 冬と歳末（10月～12月）			
33	岩邑年代記 三	江戸時代後期	
34	年中行司 御屋形書渡控	天明7年（1787）	
35	重富日記	嘉永6年（1853）	
36	岩邑年代記 四	江戸時代後期	
37	江戸名所道戯尽廿二 御蔵前の雪	万延元年（1860）頃	
38	錦帯橋図（雪景）	江戸時代後期	
5章 年中行事と暦			
39	国朝佳節録	貞享5年（1688）刊	
40	春興御歌会	明治11年（1878）	
41	永福用文章	江戸時代後期	
42	年中御作法	寛政3年（1791）	
43	御用所日記	天保5年（1834）	
44	勸農備要 田畠年中行事	明治10年（1877）刊	
45	万暦両面鑑	天保11年（1840）	
46	修真図	江戸時代末期	
47	御触出控 四	明治時代前期	

※備考欄に表記のない資料は、すべて岩国徴古館蔵

6. 関連行事

（1）担当学芸員による展示解説

日時：①令和5年7月15日（土）10時～10時30分

②令和5年8月26日（土）14時～14時30分

場所：岩国徴古館 第一展示室

参加者：計17人

7. 刊行物 企画展記念缶バッジ「若殿様端午御幟記」1個 200円



No.18 座敷幟